

平成24年度第2回多治見市新火葬場建設検討委員会議事録

日 時 : 平成25年2月5日(火)

- 議題 (1) 新火葬場建設に対する要望事項の競技結果(概要)について
(2) 環境調査等の実施状況について
(3) 新火葬場建設基本構想(案)について
(4) その他

時 間 : 13時00分～14時10分

場 所 : 多治見市役所5階第1会議室

出席者

- (委員) 片山委員長、前田副委員長、笠倉委員、豊田委員、春田委員、
宮島委員、渡邊委員
(事務局) 水野環境文化部長、伊藤環境課長、市川課長代理、田中主査

13時00分開会

1. 部長あいさつ
2. 委員長あいさつ
3. 議題

(1) 新火葬場建設に対する要望事項の協議結果(概要)について

(新火葬場建設に対する要望事項の協議結果(概要)について資料1に基づき事務局より説明)

委員長 質問はないか。

委員 (2)の①の下水道は公共か。

事務局 公共下水道のこと。

委員長 30区分の7番目「地域活性化を検討する地元委員会への協力」は、地元委員会が既にあり、それに市が協力するということか。

委員 現在は地元に委員会はないが、今後、30区のみなさんと「(仮)活性化委員会」を新たに一つって協議していこうとするもの。

委員長 第5町内からの協議、それと30区全体の協議事項がある。市全体の計画のなかで実施していくものと火葬場建設に付随するものと分けているのか。

事務局 ご要望のなかには、火葬場建設にともなうものと、市全体の計画を見据えていかないと回答できないものがある。具体的に申し上げますと、以前より線引きの問題や国京の市営住宅跡地の活用など、時間をかけて進めていくものがあるため、新火葬場建設の課題について協議する場とは別に、新たな委員会を設置し、まちづくりの課題として検討していこうとするもの。

委員長 要するに火葬場を建設する中の予算内に入ってくる課題とそれとは違う課題について、市と地元が納得されて進めていただければそれで結構だと思う。

委員 (2) 30 区分の③、④、⑤は、実施開始予定年度に実施できる見通しがあるか。

事務局 これらは、以前からの懸案事項のひとつで、実施場所も含めて協議してきた。

委員長 姫の駅前のことは放置しておくわけにいかないの、これをいい機会にしていただければと考える。

委員 10 年、15 年前からの課題であって、なるべく早く実施してほしい。

(2) 環境調査等の実施状況について

(環境調査等の実施状況について資料 2 に基づき事務局より説明)

委員長 水質の PH が 6 ぐらいということだが、この地区の特徴なのか、どのように解釈しているか。

事務局 一年をとおして、同じような数値だったので、こういった傾向があるのかなと考えている。

委員 全市的に測定しているが、多治見の場合は、山からの水では酸性の傾向が強く、普段の測定では、PH 5.6 ～ 5.7 というもう少し低い値になる地点もある。一般的にこのあたりの湿地を形成する湧き水は、酸性傾向を示すことが多い。

委員長 雨自体が PH 3 とか 4 というレベルで降っており、サンプリングの仕方によって、酸性側に傾いて当たり前と思う。環境基準からは外れているが、多治見の特性も考慮すれば、たいした問題ではないのではないか。

交通量調査は、工事中の交通量について地元と協議する際の目安になると考える。

事務局 造成工事等の設計によって工事車両の交通量が変わってくる。建設工事の方向がある程度決まれば、地元にご説明させていただき、工事中の安全対策に万全を期したい。

委員 大腸菌群が夏季で 16,000 とかなり高い値を示している。そもそも人間の大腸菌と動物の大腸菌は同じか。原因は動物由来じゃないかという説明だったが。

事務局 採水場所の上流部には人家がほとんどないことと、春から夏にかけて上昇していることから動物の排泄物の影響が一番大きいのではないかと考えた。

委員 人ではないというのはわかったけれども動物の大腸菌と人の大腸菌というのは同

じなのかどうか、同じと考えているが確認しておいてほしい。

事務局 確認しておく。

※確認した結果、大腸菌群数には、大腸菌以外の細菌も含めて数を計測しているため、大腸菌だけの数を計測したわけではないとのこと。

大腸菌については種類が多数あるものの、人と動物の大腸菌に違いがあるかまでは不明。

(3) 新火葬場建設基本構想(案)について

(新火葬場建設基本構想(案)について資料4に基づき事務局より説明)

委員長 地元との協議もふまえ斎場を設けることとしたが、民業を圧迫しないために、貸部屋として管理等は市で行い、葬儀の運営は民に任せるという基本方針でよいか。

事務局 はい。

委員長 このところが一番大きく変わったところだと思うし、民を圧迫しない形にするために配慮したところかと思う。

全体としては皆さんご理解をいただいているところかと思うが、実際の建物や配置等については、もう少し具体化した段階で、本委員会での検討や地元から意見があるかもしれないので、その際に考えていかなければならないと思う。

何を建設するかについては、基本的には委員会で了解して市に任せている段階であることはご理解いただきたい。

事務局 3月にはパブリックコメントを実施したいと考えているので、来週中ぐらいにご意見がいただければありがたい。

委員長 食事スペースというのは自動販売機を置いてあるということか。

事務局 本地域では、茶毘に付している最中に遺族等が食事をする風習があるため、そういうスペースも入れてある。

委員長 20㎡で足りるか。

事務局 遺族が中心になるのでこの程度で良いかと考えている。

委員 環境斎苑協会のマニュアルがもうすぐ改訂されると聞いている。確認されてはどうか。

事務局 確認する。

委員 火葬炉は、全部2mの棺に対応できるようにしたのか。

事務局 その予定でいる。

委員 メーカーによっては自動制御に対応できないところもあるかと思うが、子どもの遺体でも大丈夫か。

事務局 自動制御を前提にメーカーを選定している。

- 委員長 先回の際に市で選定されることを了承している。
- 事務局 副市長をトップに職員で選定し、内定している。
- 委員 現行の施設は40年以上使用しているのか。業者の仕様書では、20年程度の耐用年数としているところが多い。実際に40年使用できるのであれば、そう言ったほうが良いのではないか。
- 委員長 業者として40年使用できるところを保障するのは非常に難しいと思う。
- 委員 「新火葬場建設に伴う環境調査結果の概要」の絶滅危惧種について、調査の結果を今年の1月11日に事前に見せていただき、翌日に自然団体の方が集まる会議があったので議題に取り上げた。ここにある植物や生息する生物を簡単にどこか他の湿地へ移動させれば良いという問題ではなくて、これは姫の財産の一つなので、火葬場の建設地の周辺に、確か湿地らしいところが少し残るはずと聞いているので、まず第一にその場所に移植等をして残すという話と移植できそうな場所を見出すということが一番いいだろうとご意見をいただきました。その進捗状況で、その場所を見せていただいて移植にできることは協力しようという意見も出ているのが現状である。
- 自然環境にも配慮された工事がされる予定なので、新たに湿地の植物や生物がそこに住み着き再生定着されていくことが望みだ。
- 魚類ではドジョウが確認されたのでため池の水抜きの際に生物の保護を実施したら、ドジョウが49匹見付き、周辺の適正地に放流してきた。
- 委員長 委員会の共通認識として、前回、少なくとも記録はきっちり残していただきたい。生息可能な場所に移植等を試してみる。それには地元の方々にご協力いただきたいということだったと思っている。結果的にいなくなる場合があるかもしれないが、少なくとも記録をきちんと残すべきだと前回の委員会で了解したと思う。
- 委員 トノサマガエルも絶滅危惧種になったのには驚いている。
- 委員 この基本構想案が突然出てきたような感じを受ける。場所が決まっていない段階で基本的な考え方や設備等をずっと検討してきて、それをまとめられた資料が他にあるのではないか。今までの流れを見てみると、一つ手前のものが基本構想の中に位置づけられていないような気がする。
- 事務局 基本構想は、庁内で検討したものをベースにし、候補地の選定をする上での資料や候補地を決定してから収集した資料を使って作成している。
- 実際は、地元とお話する中で変わってきたこともあり、ほとんど同時進行で基本構想の策定作業を進めてきたので、急に出てきたような印象を持たれたのかなと思う。
- 委員長 私の解釈では、前委員会で候補地を選定したが、結果的に地元のご了解を得られなかった。その後、市役所の中でプロジェクトチームを作られ、構想を練った上で、現在の委員会が選定の任を受けている。その段階で、委員会として構想とい

うのは基本的には了承していると考えていたので、基本構想を見てあまり唐突な感じはしていない。

基本的には構想があって、その修正は実施していく段階で変えていくというふう
に理解をしてきたつもり。ほとんど議論されたことが盛り込まれていると考える。
もう1回ぐらい委員会で審議できる時間がとれば良かったかもしれないが。

事務局 委員会を開催するのは時間的に難しいが、ご意見をいただきたい。いただいたご
意見は、委員長ともご相談し、加筆、修正等をさせていただく。

委員長 一任していただけるか。

委員 この中に煙突の高さが書いてないが、想定はどれぐらいか。

事務局 煙突は、火葬炉と一体のものと考えているので、煙突も含めた全体の高さとして
は想定している。

委員 排出ガスの基準は煙突の高さともものすごく関係がある。高さを明示したほうが良
いと思う。

事務局 今は、煙突というより排出口のようなイメージで、高さによって、周辺への影響
が違ふことは理解している。実施設計の中で、検討させていただき最善の方法を
とりたいと考えている。

委員長 基本構想の中では、幅を持たしておく必要があると思う。おそらく設計ができた
段階で検討していくことではないか。

1週間以内にご意見等がなければ、このまま進めていただきたいと思います。

(4) その他

事務局 設計業者の選定に入っており、今月中くらいには業者を決定していきたいと考
えている。

火葬炉業者についても、前回の委員会で市の方で選定することにご了解いただい
ているので、選定し候補者を決めた。太陽築炉工業というところ。設計業者が決
まった段階で、あわせて公表していきたい。

この業者を選んだのは、この環境基準を明らかにクリアしている。15年間のラ
ンニングコストや当初の工事費も比較し一番安価だったのが一番大きな理由。

また、名古屋市の新火葬場の受注が決定しており、メンテナンス体制も整ったこ
とも評価した点。

14時10分終了